

2月の消防広報重点事項

発行 令和3年1月14日
盛岡市危機管理防災課
編集 盛岡中央消防署

令和2年の火災・救急の状況について

1 火災の状況

令和2年中の盛岡市における火災件数は30件で、今までで最も少なく、前年に比べ10件減少しています。

また、火災による死者数は4人で、前年に比べて1人増加しています。

火災原因は、「放火・放火の疑い」による火災が6件で最も多く、次いで「ストーブ」、「たばこ」、「こんろ」となっています。

	令和2年	令和元年	比較増減
火災件数	30	40	-10
死者	4	3	+1
負傷者	17	7	+10

令和2年				令和元年			
火災原因		件数	割合(%)	火災原因		件数	割合(%)
第1位	放火・放火の疑い	6	20.0	第1位	放火・放火の疑い	6	15.0
第2位	ストーブ	4	13.3	第2位	たばこ	4	10.0
第3位	たばこ	3	10.0	第2位	配線器具	4	10.0
第4位	こんろ	2	6.7	第4位	こんろ	3	7.5

2 救急の状況

令和2年中の盛岡市における救急出動件数は10,885件で、前年に比べ1,024件減少しています。

また、救急搬送人員は10,202人で、前年に比べ958人減少しています。

これは、市民の28.5人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

	令和2年	令和元年	比較増減
救急出動件数	10,885	11,909	-1,024
救急搬送人員	10,202	11,160	-958

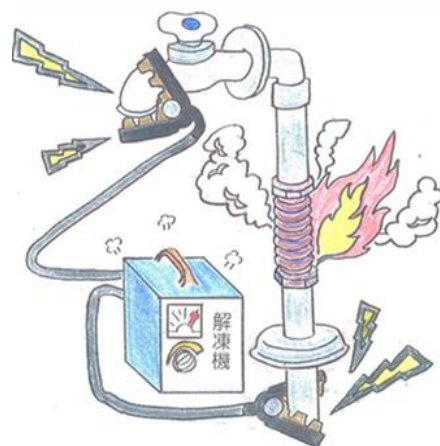
3 過去5年間の火災件数及び救急出動件数の推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
火災件数	46	42	36	40	30
救急出動件数	10,661	10,851	11,676	11,909	10,885

● 解凍機のご注意ください

寒さの厳しい日が続いていますが、最近、凍結した水道管の解凍作業中に、壁体内の断熱材から出火する事案が増えています。

これを防止するには、次の点を厳守することが重要です。また、解凍作業は、できるだけ凍結修理の対応が可能な市指定給水装置工事業者に依頼するようにしましょう。



- 1 解凍機を使用する場合は、取扱説明書や本体に記載されている注意事項等を熟読してください。
- 2 使用に際しては、配管経路を確認し、ステンレス管（特にフレキシブル管）が使用されていないことを確認してください。
- 3 使用にあたり、危険性を十分に認識してください。
- 4 解凍作業中は、その場を離れず、万一の場合に備えて、消火器を準備してください。

● 消防団に入団しませんか？

消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置されている組織です。その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

〈お問合せ先〉

盛岡市総務部危機管理防災課 消防対策室 盛岡市盛岡駅西通一丁目27番55号
Tel・Fax：019-626-7404 Mail：shoubou@city.morioka.iwate.jp

● 令和2年12月中の火災6件の内訳

- | | | |
|--------|---------|--------------|
| 12月 1日 | 津志田町一丁目 | 住宅1棟ぼや |
| 12月 8日 | 向中野五丁目 | 店舗兼事務所1棟部分焼 |
| 12月10日 | 本宮六丁目 | 小型乗用自動車1台焼損 |
| 12月11日 | 黒石野一丁目 | 住宅1棟半焼 |
| 12月27日 | 中ノ橋通二丁目 | 老人ホーム1棟（調査中） |
| 12月29日 | 東新庄二丁目 | 住宅1棟全焼 |